

会議結果報告書

1	会議名	平成 30 年度第 1 回環境指導員地区会議（鶴嶺東地区）
2	日時	平成 30 年 5 月 31 日（木）10：00～11：30
3	場所	鶴嶺東コミュニティセンター 大会議室 2
4	出席者	（資源循環課）森岡副主査、下舞主事 （環境事業センター）広田主幹、門倉副主査、和田主事、田中技能労務統括主査、山口技能労務統括主査 （鶴嶺東地区）参加人数：17 人
5	内容	<p>本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <p>●ごみ袋の金額が高い。1 人 1 年当たり 1,500 円になることを想定しているが、現状はいくらくらいなのか。スーパーの袋を使用している人もいれば、袋を購入している人もいる。 →現状いくらかかっているかについては把握していない。1,600 円はあくまでも他市の事例から算出している。</p> <p>●資源物も戸別収集を行うのか。もし行ったら、現集積場所が残るので、デメリットが増える。 →検討中である。他市でもまちまちであるが、藤沢市は段階的に戸別収集の品目を増やしている。現在は古紙類と衣類がステーション方式を採用している。</p> <p>●戸別収集が始まったらカラスいけいけが無駄になってしまう。市はどのように考えているか。 →平成 31 年度に方向性が決まるので、そこから話をつめる必要があるため、再来年度すぐに無駄になるとは考えにくい。</p> <p>●戸別収集について 3 軒の合意の下に 1 軒の所にまとめて出すことは可能か。 →基本的に 1 軒ごとの収集を想定しているが、併用は検討する。</p> <p>●道路のせまい道はどうするのか、戸別収集にしたら今よりもっと鳥獣に荒らされてしまう。 →道路のせまい道は軽車両を検討している。それでも収集不可能であれば徒歩での収集を想定している。鳥獣対策は各家庭で行ってもらう。</p> <p>●戸別収集について、人件費込みの試算が必要ではないか。 →戸別収集については既存の事業を見直すとともに、なるべく費用がかからない方法で検討していきたい。</p>

	以上
--	----